

「麻しん(はしか)」に注意しましょう！ ～麻しんの予防にはワクチン接種が最も有効です～

現在、海外での流行が報告されており、**県内でも海外からの輸入感染事例が報告されています。**

	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
尼崎市	2	0	0	0	1	0
兵庫県	51	1	0	1	2	4
全国	744	10	6	6	28	41

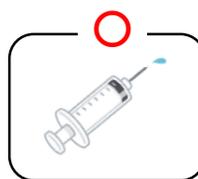
(令和6年11月20日時点)

【麻しんはマスクでは防げません】

麻しんウイルスは感染力が非常に強く、空気感染で簡単に感染します。

通常のマスクや手洗いだけでは防ぐことができません。

麻しんの予防には**予防接種が有効**です。



【麻しん風しん混合ワクチン】

現在1歳以上の幼児に対して、麻しんの定期予防接種(無料)が実施されています。

第一期：1歳～2歳未満

第二期：5歳～7歳未満(年長相当での接種を推奨)



麻しんワクチン1回の接種では予防が不十分と言われています。麻しんの予防には**2回の予防接種**が重要です。

定期予防接種の期間を逃すと、全額自己負担になります(約1万円/回)。

【こんな症状が出たら、麻しんかも…】

症状の出始め(最初の3～4日間)

- 38℃前後の発熱
- 咳、鼻水、目の充血などの症状(カタル症状)



症状が出てから約5日後以降

- 一度解熱したあと、39℃以上の高熱(4～5日間)
- 高熱とともに出てくる全身の発疹



また、合併症として、まれに重度の脳炎(亜急性硬化性全脳炎)を発症することもあります。

【麻しんのような症状が出たときの受診の注意点】

- 母子手帳でワクチン接種歴を確認しましょう。
- 必ず医療機関に電話し、すみやかに受診しましょう。
- 可能な限り他者と接触しないよう、公共交通機関の使用は避けましょう。

詳しくはこちら

麻しん 尼崎市

検索



尼崎市保健所 感染症対策担当